

2022年 4月 26日

株式会社 ファイターズ スポーツ&エンターテインメント
取締役 事業統轄本部長 前沢賢 様

一般社団法人北海道自然保護協会 会長 在田一則
北広島森の倶楽部 会長 加藤和子
北広島の自然を考える会 代表 三澤英一

ご回答（4月 4日付）に関する質問と要望

貴職におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、先日いただきました貴社からの回答（4月 4日付）につきまして、下記のとおり、改めて質問させていただくとともに、要望点も記載しましたので、ご検討のほどよろしくお願いたします。なお、以下の番号は 4月 4日にいただいた貴社回答の番号に対応しております。

ご多忙とは思いますが、ご回答を 5月 30日（月）までにお願いとするとともに、その後の早い時期に対面での意見交換をお願いたします。

1 自然との調和に向けた取り組み

① 植栽計画

1月 31日の回答では、「エリア内においては多くの緑化を行うこととし、配置する植栽については既存在来種に配慮した植栽計画とします」とありましたので、3月 4日に「既存在来種に配慮した植栽計画とは何か、その計画の具体案をお聞かせください」と質問したところ、今回は、「エリア内に配置する樹木については在来種を主体とすることで周辺植生に配慮した植栽計画とします」の回答でした。

【要望】

エリア内に植栽する樹木は、野幌丘陵の森林（特別天然記念物野幌原始林、道立自然公園野幌森林公園、およびその周辺の森林）に自生する樹種を選定し、可能な限り野幌丘陵由来の苗を移植されるよう要望いたします。

② 照明計画

照明計画については、「球場内については、投光範囲を限定した照明装置としています。外部への光の漏れを抑制するため指向性が高い LED 照明の採用を行う」とあり、また「外構については、全体的に照度を抑えエリア外へ与える影響を極力低減します。昆虫に与える影響を軽減した LED 照明の採用を行う」など前回と同じ回答でした。それらの対策については評価しておりますが、「レクリエーションの森側へ光が漏れ出さないような遮光対策を講じて欲しい」との要望では、「施設から発せられる光を外部に一切出さないことは物理的に困難ではありますが、各種施策を通してその影響をできる限り低減していきたい」という具体性に欠ける回答でした。

【質問と要望】

ここで述べられている“各種施策”とは、野生動植物に与える球場および駐車場、道路からの光害軽減に対する対策と理解してよろしいですか。特に我々が危惧するのは、レクリエーションの森側への光の影響です。ご指摘のように施設から発せられる光を外部に一切出さないようにするのは困難であるので、道路際に盛り土を行い、そこに植樹するか遮光フェンスを設けるなどして、レクリエーションの森側に光が極力行かないような対策は可能と希望いたします。そのためにも、Fビレッジから森にどの程度光が届いているのかのシミュレーション

ンなど科学的検証をされた上で、光漏れ防止対策を講じるようお願いいたします。

2 バードストライク対策

① 高さ軽減

3月4日の質問で「球場の高さを86mから73mにしたこととバードストライク対策」との関連をお聞きしましたが、今回、「高さ抑制は物理的な対策として有効なものとして認識しているところであり、バードストライク対策に限ったことではなく・・・」と回答されています。

【要望】

「高さ抑制は物理的な対策として有効なものとして認識している」の“物理的”とは「鳥が飛ぶ高さ」と理解しました。それを言い換えると「73mの高さ抑制はバードストライク対策として有効である」と回答されたものと理解できますが、それは「鳥は高いところを飛ぶ」との前提に立っているのではないのでしょうか。しかし、鳥はいろいろな高さを飛び、季節により活動場所も異なるので、球場の高さを86mから73mに抑制することがバードストライク対策につながるとは必ずしも言えません。また「ガラス前面への低木植栽」のご提案に関しても、配置することが決定しているわけでないとのことですが、配置により逆に鳥を呼び寄せ、バードストライクを助長させることになりかねません。ガラス壁面に映る木々がそこに森があると勘違いさせ鳥を呼び寄せてしまうことが十分考えられます。是非、実効あるバードストライク対策を講じるようお願いいたします。

② 運用面での軽減

【質問】

・「バットストライク対策の超音波装置とはどのようなもので、どこに設置し、どのような効果が期待できるのでしょうか。超音波を出すことでコウモリの行動を攪乱させる負の面はないのでしょうか」という質問に関して回答がありませんでした。改めて質問いたしますのでご回答下さい。

・「鳥害対策（鳥避け対策のこと？）として一般的に流通している商品もございます」とのことですが、どのような商品でどのような効果が期待できるのか、それをどこに設置するのかご回答下さい。

3 その他

① 自然体験

1月31日の回答に「Fビレッジが持つアウトドア活動に加え、レクリエーションの森等も活用しながら、来場者に対して自然の重要性を伝える取り組みなどを進めていきます」とありましたので、3月4日付の質問で「これは貴社単独で行うもののでしょうか。また、具体的にはどのような内容を考えておられますか」とお聞きしたところ、4月4日の回答では「Fビレッジ内に参画いただくパートナー事業者様や施設管理会社様と連携し、・・・具体的な内容については今後検討して参ります」との回答でした。

【要望】

我々のもう一つの関心事項は、レクリエーションの森の保全と活用です。この森は国指定の特別天然記念物野幌原始林に隣接する国有林で、一部を市が借り受け、林間学園施設やフィールドアスレチック、水辺広場などが設けられ、市民の憩いの場となっております。さらに道立自然公園野幌森林公園から島松、恵庭、支笏湖方面に連なる「緑の回廊」を形成する場所です。そのような自然豊かな場所の活用に営利を目的とするパートナー事業者や施設管理会社が参画することに不安を感じます。観光資源としてこの森を安易に利用することには慎重であるべきです。市や市民団体が主体となり、ワークショップを行うなどし、自然に負

荷をかけない賢明な利用の仕方を検討いただきたいと思います。

② 周辺環境の保全

【要望】

「鳥類やほ乳類へのストレスとならないような花火・騒音対策をこうじることを強く要望します」の要望に対し、「パートナー事業者様や施設管理会社様と連携し、いただいたご意見を参考に、上記啓蒙活動と合わせて具体的な内容を検討していきます」との回答ですが、お答えが要望の趣旨と合わないように思います。再度「鳥類やほ乳類へのストレスとならないような花火・騒音対策をこうじることを強く要望します」ので、ご検討をよろしくお願いいたします。

③ 特定外来種への対応

【質問】

1月31日付けの回答に「特定外来種への対処も行い、周辺の生態系の維持に貢献いたします」とありますが、Fビレッジエリアで特定外来種としてどのような動植物を想定されているのかお尋ねしたものですので、ご回答下さい。

④ 経過観察

1月31日の回答では「周辺環境を継続的に観察し、結果をもとに施設管理運営マニュアルの定期的見直しを行います」とあったのが、4月4日回答では「施設管理会社様と連携しながら、Fビレッジエリアについてモニタリングを行います」とあります。前回“周辺環境”とあったものが、今回は“Fビレッジ”とモニタリング場所が限定されています。

【質問と要望】

なぜ今回は“Fビレッジ”に限定されたのでしょうか。その理由をお聞かせ下さい。球場で打ち上げられる花火や騒音、照明などがレクリエーションの森や特別天然記念物指定地などに生息する動植物に与える影響は相当なものがあると思います。モニタリングは、Fビレッジに限定せず、レクリエーションの森も含む周辺緑地でも行っていただきたくご検討下さい。

その他（要望）

文面のやりとりだけではイメージがつかめません。また、現地で説明いただくことで問題点や改善点も共有できると思います。是非、現地説明会を実施していただきたく、よろしく願います。